

トライオートZX2 クイックガイド

※ 製品をご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。
 ※ 初期設定に基づいた手順です。設定を変更した場合は、必ずそのメモリの設定内容を確認してください。



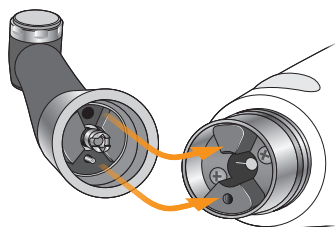
お手入れガイドはこちら ▶



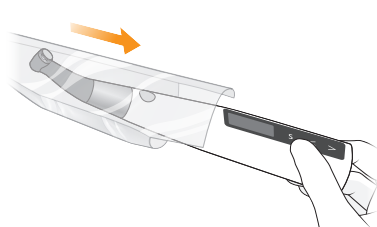
ご使用前に

各部の装着

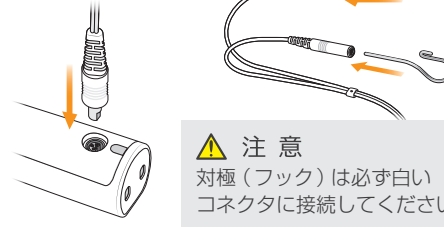
STEP 1
コントラアングル



STEP 2
透明カバー

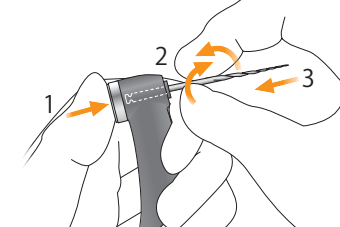


STEP 3
プローブコード



注意
 対極（フック）は必ず白いコネクタに接続してください。

STEP 4
ファイル

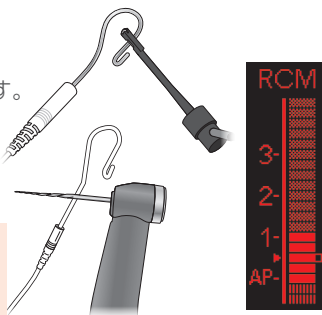


作動の確認

STEP 1
根管長測定作動の確認

電源を ON にします。「m1」画面になります。
 対極（フック）とファイルホルダーの接触子、
 対極とファイルを触れさせ、根管長バーが
 全て表示されることを確認します。

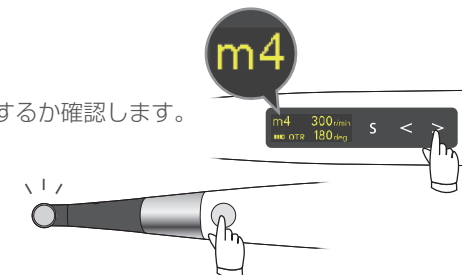
警告
 根管長バーが全て表示されない場合は、
 直ちに使用をやめ、修理を依頼してください。



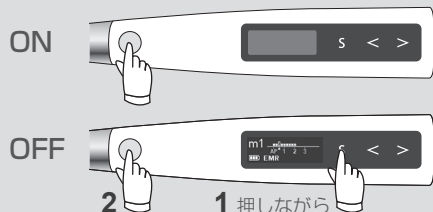
STEP 2
モーター作動の確認

「m4」(OTRモード)にします。
 モーターを回転させ、スムーズに作動するか確認します。

- すぐに正転・反転を繰り返すとき：
 キャリブレーションしてください。
- 振動が大きい / 異音がするとき：
 使用をやめ、点検を依頼してください。

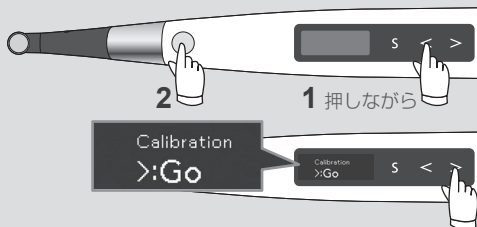


電源のON/OFF



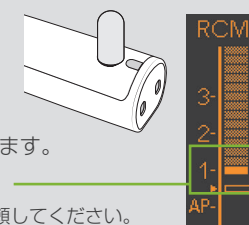
キャリブレーション (初回、コントラアングル交換時、OTR誤作動時 など)

コントラアングルを装着します。
 電源 OFF の状態で
 1、2のスイッチを押します。
 > スイッチを押すと
 キャリブレーションが始まります。
 終了後はスタンバイ画面になります。



根管長テスターによるチェック (週1回)

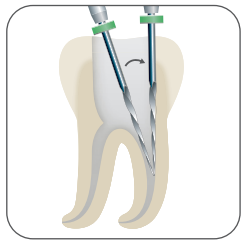
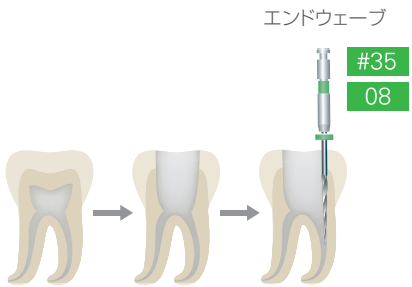
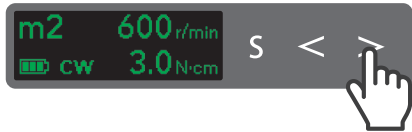
電源を ON にします。
 根管長テスターを装着します。
 根管長バーの先端位置を確認します。
 ・1 から ±2 ドット以内：正常です。
 ・それ以外：使用をやめ、点検を依頼してください。



使用手順

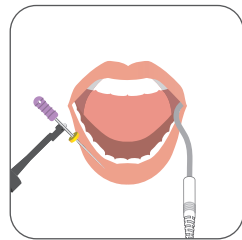
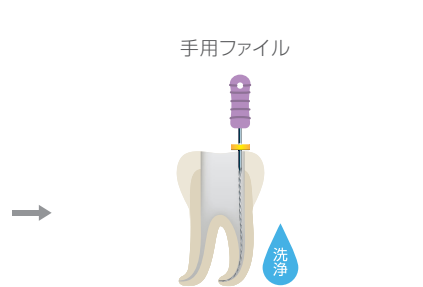
トライオートZX2は、電氣的根管長測定を行いながら、穿通・予備拡大・根管拡大形成が可能なエンドモーターです。それぞれのメモリに回転モード・回転数・トルクが初期設定されています。

1 根管上部形成

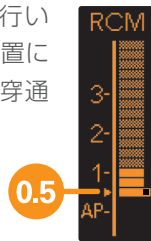


ファイルで根管を形成するとき、歯軸に対して平行な位置関係で根管に挿入できるように、フレアー形成を行います。

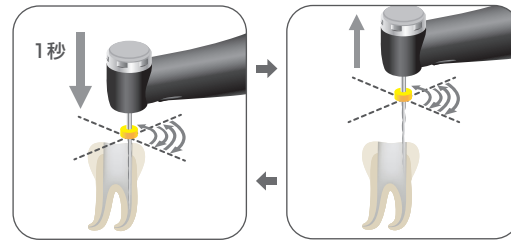
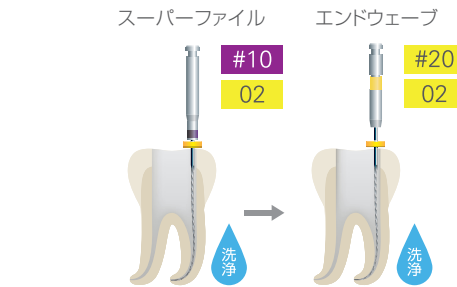
2 根管長測定(穿通) EMR 対極使用



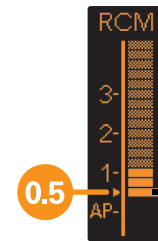
電氣的根管長測定を行いながら、右図 0.5 の位置に達するまでファイルを穿通させます。



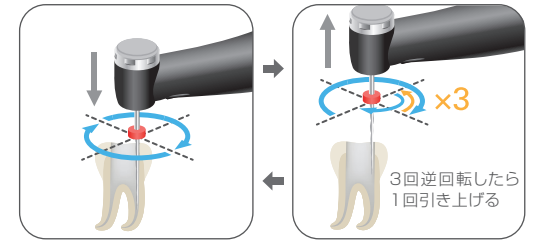
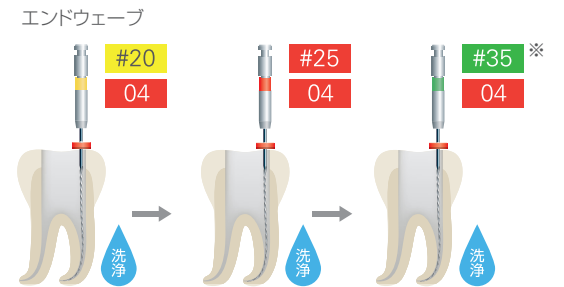
3 穿通・予備拡大 EMR 対極使用



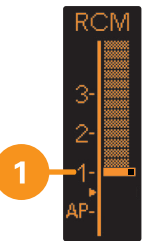
ファイルが浮いてこないように1秒ほど軽く押し込み、引き上げる運動を繰り返し行い、右図 0.5 の位置に達するまでファイルを穿通させます。設定した位置に達すると、回転は自動的に止まります。



4 根管拡大形成 EMR 対極使用



ファイルをゆっくりと根管の先へすすめるように根管形成を始め、形成中にファイルが逆回転を始めたら素早く引き上げる運動を繰り返し行います。作業長として設定された 1 の位置に達すると回転は自動的に止まります。



※ ファイルは慎重に使用してください。設定が異なる場合は、ファイルメーカーの推奨事項に従ってください。

商標 (TM)・登録商標 (®)について 本書に掲載されている会社、商品、サービス等の名称は、各社の商標または登録商標です。

製造販売 株式会社 モリタ製作所

2021 Apr. 21 Pub. No.: K312-80009-505

Printed in Japan K 2021 Apr.

